

玄米まつり  
地産地消増大に尽力

当JAは9月6日〜7日、管内9箇所で開催した「玄米まつり」を開催しました。JA担当職員が、食味計で一定値以上の数値を確保した選りすぐりのコシヒカリ、あざさかりの新米を販売し、2日間で4,158袋を売り上げました。新聞広告の掲載等で事前にPRを積極的に行い、四国放送のニュースにもイベントが報道され、2日目の8時半には本所に新米を買い求め、開店を待ち望む人が長蛇の列を作りました。

今年度は夏期の高温の影響から状況が悪く収量減少により、メディアでは米不足が報じられていたこともあり、多数の来客がありました。

イベントでは少しでも多くの方へ新米を提供できるよう、一人当たりの購入制限を3袋までとしました。

営農経済部 経済課 松本真司 課長は「来年も新米を購入したいという顧客のニーズに対応し、さらに管内の皆様の食卓へ地元産のお米を届け、地産地消推進増大に尽力したい。」と話しました。

【写真⑥は、本所で玄米を販売する職員。⑦は玄米を運搬する職員】



脱プラスチック 水稲試験栽培  
硫黄コーティング肥料に期待

当JAでは、プラスチックを使用しない環境に配慮した肥料（硫黄コーティング肥料）を用いて水稲栽培の試験を行いました。8月下旬、勝占地区の盛産純さんのほ場で硫黄コーティング肥料を側条施肥し、栽培したコシヒカリの試料を採取しました。対象は、プラスチックコーティング肥料を使用し、同条件で栽培したものとしました。今後、製造元（サンアグロ株式会社）が分析し、食味や収量調査を行います。

9月中旬には、同様に多良地区で栽培したあざさかりも採取します。農地からマイクロプラスチックが海に流出する環境問題が懸念される中、全国農業協同組合連合会、全国複合肥料工業会、日本肥料アンモニア協会は、「2030年にはプラスチックを使用した被覆肥料に頼らない農業に。」を理想に掲げ、令和4年1月下旬、「緩効性肥料におけるプラスチック被覆殻の海洋流出防止に向けた取組方針」を公表しています。

「脱プラスチック」に向けて、被覆の主成分が硫黄であるコーティング肥料を使用することで、自然界で分解されることはもちろん、肥料成分がゆっくり溶け出すことや、被覆が分解後に養分として作物に吸収されることがメリットとして挙げられます。

南部営農経済センター 山本浩史指導員は「今年の夏は高温で推移したことから、肥料成分の溶出が早まったと考えられる。コーティングの違いによる食味や収量量について検討したい。」と話しています。



シンビジウム栽培  
山あげ作業中 近藤さん

北井上地区でシンビジウム切り花を生産する近藤洋右さん（41）は、6月より山上げ場で栽培管理作業を行っています。シンビジウムはラン科の植物で、高温条件下の栽培では花茎（花芽）に障害が発生することが有り、6〜10月の間、暑さを避けるため美馬市木屋平にある標高1,100mの中尾山高原へ鉢ごと山上げし、高温（特に夜温）を避け最適な環境で花茎を生育させています。今年度は42坪の山上げ場の圃場で、約2万鉢を栽培しており、ほぼ毎日片道約1時間半かけ山上げ場へ通い、管理作業に努めています。市場ニーズ・トレンドに応じた色の花に対応できるように、さらにリスクヘッジのため、全部で18品種ほど栽培しています。

シンビジウムは花茎がまっすぐなものが高品質とされますが、繊細なシンビジウムは自重や寒暖差によって曲がりが発生します。近藤さんは、1鉢ごと状態に合わせて、不要な葉芽をかき、花茎が上向きに伸びるように一本ずつ支柱を立て、その先端に花茎を上に向けて引っ張る器具を取付けています。この作業は作業量が多いことに加え、力の入れ具合や方向によって花茎が折れることもあり、非常に神経を使います。また、環境上、鳥獣被害を受けることもあり、苦労は絶えません。

10月から開始する山おろしでは、花や蕾に傷がつかないように鉢をトレイ積みし、専用の4トトラックで慎重に運搬します。苗の購入から3年間もの栽培期間を経て、出荷物に高値が付くことで、苦労が成果となる喜びはひとしおです。

昨年より徳島県開講の『施設園芸アカデミー』で最先端の環境制御技術の研修を積み、近年の温暖化対策や、さらなる技術の確立に日々、努力を重ねています。近藤さんは、「市場の必要なときに必要な品物・量を出荷できる体制づくりが経営を維持するため、最も重要なことだ」と話しています。





## 南井上 山本部長 作業効率化に枝背丈低く

南井上事務所管内で長年、ナスを栽培する山本幸太郎部長（70歳）は、3年前より圃場の周囲にソルゴーを植え、風よけ・台風対策に努めています。取材時9月中旬、高さ3mほどにも成長したソルゴーがしっかりとナスの実を風から守ってくれていました。

枝上部は、特に実が傷がつきやすいことや、収穫作業の効率を上げるために、剪定によってナスの枝の背丈を自身の目の高さで設定しています。

ナスの根は2mから3mと非常に大きく張ることから、土壌から十分に養分を送り込むため、畝は盛れるだけ盛ることに重点を置きます。

猛暑から日中の作業は体力を消耗することもあり、4時に起床、5時半には収穫作業を始め、管理作業は夕方に行います。稲刈りと作業が重なる時期は特に作業が立てこみますが、山本部長は、午後6時半には晩酌を楽しみ、早朝起床に向け8時には就寝し、規則正しい生活で体調管理に努めます。収穫は11月初旬まで続く予定です。



## 国府 岩崎部長 めいっぱい畝は高さを

国府支所ナス部の岩崎米二郎部長（59歳）は、9月初旬ナスの収穫作業の最盛期を迎えていました。今年度は、8mの圃場で351本の苗を栽培しています。収穫期間が長く、台風等の対策として、圃場の周囲をネットで囲み、さらに2畝ごとにアーチ状のパイプを設置し、上部に雨除けネットを張り巡らせることで、風雨による実の傷を最小限に抑えます。

3月に定植し、6月下旬までは、アーチ状のパイプ下部にビニールを張り、半促成栽培で成長を促します。中でも畝上げ作業が一番労力を使う作業で、畝は管理機を使い、平行且つ、高さは上げられる限界まで、めいっぱい上げるのが、高品質なナスを栽培する重要な要素です。

夏期は毎朝4時半から収穫作業を始め、その後は一枝一枝、摘芯など管理作業に時間を費やします。岩崎部長は「圃場整備や管理作業など、ナス栽培は手間のかかることが多いこともあり、収穫している時間は苦労が報われる気持ちだ。」と話しました。



## さくらもいちご 株冷処理 共同冷蔵庫でスタート



佐那河内もいちご部会は、1日より果樹選果場の共同冷蔵庫での株冷処理（暗黒低温処理）を開始し、一部の生産者7戸がおよそ1,050個のコンテナに入ったいちごの苗約25,200株を入庫しました。

株冷処理（暗黒低温処理）は、いちご苗を14℃に保たれた冷蔵庫で低温処理することにより、花芽分化を促進させ、安定出荷を図ることを目的としており、毎年この時期に取り組んでいます。処理後は、花芽検鏡を実施し花芽分化の確認後に定植作業へと移ります。昨年は9月中旬に定植してもなお、厳しい残暑から、普通苗（未処理苗）とも生育に影響し、出荷のピークが約2週間遅れる結果となりました。

栗坂政史部長は「酷暑の影響は深刻だが、2週間後にはいよいよ定植作業が始まる。できる限りのことを尽くし、健全な育苗に努め、安定出荷を目指したい。」と話しました。今年の初出荷は、12月1日を予定しています。

【写真は、苗のコンテナを冷蔵庫に入庫する佐那河内選果場 松本職員 苗の調査をする支援センター担当者】

## 適期定植に向け いちご花芽検鏡

多家良支所・勝占事務所のいちご部会では、9月18日よりいちごの花芽検鏡が始まりました。

生産者が「さちのか」「ゆめのか」の苗を持ち込み、担当者が花芽を確認し、定植時期の相談を行いました。

花芽検鏡では、いちごの苗の「クラウン」という部分（根本）に花芽が形成されているかどうか顕微鏡を使用し調べます。サンプルの葉を1枚ずつめくり、出蕾までの葉数と花芽の分化ステージを確認し、定植時期や出蕾・開花・収穫の時期を予測します。

営農経済部 営農センター 相原沙紀職員は「7月、8月に留まらず、9月に入っても高温が続いていたため、今年も花芽分化が遅れ気味である。近年、異常気象のため今後の天候は予測しづらいが安定出荷に向け、生産者・JA共に頑張っていきたい。」と話しました。【写真は、顕微鏡で花芽を確認する相原職員】





## 当 JA が令和 5 年度 農業者年金表彰を受賞

9月10日、令和6年度農業者年金加入推進特別研修会が徳島グランヴィリオホテルで開催されました。会の中で、当JAは令和5年度の農業者年金新規加入者目標に対して、優秀な成績を収めたことが称えられ、徳島県農業会議 美馬事務局長より表彰を受けました。当JAを代表し、表彰状を受け取った 金融共済部 伊藤剛生課長は、「農業者年金は、掛金全額が社会保険料控除や政策支援加入などメリットの多い制度なので、農業委員会と協力し、これから幅広く制度周知に努めていきたい。」と話しました。なお、農業者年金へのご加入については、各支所へお問い合わせください。



## 青仲会若手社員がすだち収穫作業体験

徳島県産青果物を取り扱う関西圏の主要青果物卸売会社17社で構成される「徳島県青仲会」の若手社員16名が9月9日、佐那河内村を訪れました。すだち部会 森下嘉文部会長の圃場で研修の一環として、すだちの収穫作業体験が行われました。若手社員に産地へ足を運んでもらい、農作業を体験してもらうことによって、農家の実情や農作物が商品として市場担当者が手にするまでの過程を肌で感じてもらう、有利販売へ活かしてもらえることを目的としています。今回は収穫体験の他、佐那河内果樹選果場の視察が行われました。

参加した若手社員は「自分が販売している品目により詳しくなれた。今回の体験を通じて、更にすだちの有利販売に努めたい。」と話しました。

他にも、同様にすだち部会では、関係機関やJAと取引のある業者等の担当者・社員を受け入れ、収穫体験会を実施し、すだちやその他作物への関心、農業者への理解を深めてもらっています。



## 健康 百科

### 「おかげさまで創立25周年を迎えました」

みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。1999年9月、在宅医療専門の「徳島往診クリニック」を開設し、おかげさまで今月25周年を迎えることができました。皆様のご長年にわたるご愛読に感謝いたします。

2000年から介護保険がスタートし新しい制度の下、それまではご自宅の介護と言えは主にお嫁さんだけが重責を担っていた状況から、訪問の医師や看護師・ヘルパーさん等も自宅療養・介護に公的に関わるようになったのです。そのことを見据えて1999年全国に多くの在宅医療専門のクリニックが誕生しました。

開設当時は「在宅医療」という言葉も耳慣れなく、「在宅医療って何ですか?」「在宅医療って何ができるんですか?」といった質問をよく受けました。私自身暗中模索の状態がしばらく続いていましたが、2001年に徳島市で開催された当時の在宅ホスピス協会の長講演がターニングポイントとなり、それまで肺癌終末期で呼吸不全が増悪したような場合は入院も仕方がないといった考えでしたが、そんな方でもしっかりケアが提供できれば最期まで自宅でいられることを知りました。25年前の私は本当に未熟だったと思います。以来、末期癌や神経難病等の中でも医療依存度の高い重症の方でも最期までご自宅でご過ごせるようこれまで在宅緩和ケアを中心に診療を進めて参ったところです。

その後沢山の患者さんに接していく中で、人生観・家族関係・病気に対する姿勢などひとりひとり全く違うということを痛感しました。診療に関して言えば、今は多くのガイドラインが整備されていて、若い先生の中にはそれを金科玉条のように守る方もいます。でも、ちょっと立ち止まって考えていただきたいのです。点液や薬剤の投与ひとつとっても確固とした考えをお持ちの患者さん・

### 徳島往診クリニック 吉田大介

ご家族中にはいらっしやいます。例えば、「口から食べられなくなったら、点滴はしたくない。」「抗癌剤は使いたくない。」といったことです。そういった場合は個別性を大切にして、患者さんとそのご家族の思いに耳を傾け、寄り添うことが往々にしていい結果をもたらします。

最近ご自宅で見取った方は、まだ60代の男性です。骨盤内に巨大な腫瘤を形成していて、強い疼痛と腸閉塞症状の他にストマ・ペニス・肛門から大量の出血をしていました。それでも最期は家で過ごしたいとご希望があり、またそれを支えたいという奥様がいて、2日前に病院からご自宅に戻られました。こういうケースが珍しくなくなったのも、医療・介護者の長きにわたる在宅緩和ケア・ホスピスケアの活動の賜だと思えます。

2022年から団塊の世代が75歳に到達し始め、2025年には75歳以上の後期高齢者は人口全体の18%を占めるまで増加します。また日本全国の死亡者数は今後増え続け2040年にピークを迎えると予想されています。そのような状況のもと今後在宅医療の役割はますます重みを増していくでしょう。当院も微力ながらその一助になりたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



令和7年(2025年)JAカレンダーについて

毎年、好評をいただいている「令和7年(2025年)JAカレンダー」について、11月10日頃より、各支所・事務所・センターに備え置きいたします。

数に限りがございますので、お早めに最寄りの支所・事務所・センターにご来店ください。

JA徳島市

# 衣料品フェア

この度、各センター・店舗にて衣料品フェアを開催します。  
日程は下記のとおりです。

開催場所	開催日
北部営農経済センター(物流センター)	11月1日
眉山ミニ資材店舗	11月8日
東部営農経済センター	11月16日
佐那河内果樹選果場	11月22日
南部営農経済センター	12月3日

午前9:00～午後4:00まで



セール商品多数あり！  
早い者勝ち！  
売り切れご免！

特典

ご購入いただいた方へ  
粗品プレゼント(数量限定)

おしゃれ長靴、スニーカー、ウォーキングシューズ、作業服、  
ジャージ、ポロシャツ、エプロン、婦人服、日用雑貨、ギフト商品

JAでんま 相談会 他 (検針票を持参の方には粗品贈呈)

ご来場心よりお待ちしております。

## 島田清弁護士の 無料法律相談

日時 第3土曜日  
9:00～12:00

申込先 金融共済部へ事前に  
予約が必要

☎ 088-622-8003

場所 本所1階金融相談室

## 賀上延啓 税理士事務所の 無料税務相談

日時 11月5日(火)、  
12日(火)、19日(火)  
9:30～15:00

申込先 総務部へ事前に予約が必要

☎ 088-622-6335

場所 本所1階金融相談室

## 理事会だより (令和6年8月23日)

### 協議事項

- (1) 個人情報取扱規程および特定個人情報取扱規程の一部変更について【可決】
- (2) 事務リスク管理規程の一部変更について【可決】
- (3) 出資口数の一部減口について【可決】

### 報告事項

- (1) 令和6年度上半期末監事監査日程について
- (2) 令和6年度上期内部監査報告書について
- (3) 債権回収について
- (4) 農協をよくするプロジェクトの設立について

